

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 生涯学習の充実
 基本事業 生涯学習関連施設の充実

事業名 **図書館運営管理事業**

[0424]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	情報図書館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 情報図書館
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・施設が適切に運営管理される。 ・利用者が安全・快適に利用できる。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 情報図書館の運営管理に要する経費

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	年間開館日数(全館)	日	291	293	292	291
活動指標2	運営維持管理経費	千円	63,619	66,265	64,277	66,068
成果指標1	年間資料貸出利用者数	人	211,113	220,084	210,761	208,900
成果指標2	年間資料貸出冊数	冊	905,532	905,392	883,742	898,300
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	63,618	66,265	64,277	66,068
正職員人件費(B)		千円	33,046	27,288	32,866	33,030
総事業費(A)+ (B)		千円	96,664	93,553	97,143	99,098

費用内訳	
24年度	報酬 35,535千円、賃金 1,609千円、需用費 11,146千円、役務費 898千円、委託料 14,480千円、使用料及び賃借料 563千円、備品購入費 46千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

図書館法、江別市情報図書館条例などにより資料の収集・整理・保存・提供が定められている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

生涯学習の充実のため人的・施設の援助を行っている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

貸出資料数や来館者数は、ほぼ横ばいで推移している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

図書館電算システムの更新により経費削減が図られている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

常に必要最小限度を意識し、経費節減に努めている。